



自民党

第33代・第34代環境大臣



あさお 慶一郎

何度でも
チャンスのある社会を

今月の提言

日々変化する中東情勢と我国の対応策

予断を許さないイラン情勢

イラン情勢が如何に推移するか予測が出来ません。パキスタンの仲介で14日間の停戦の合意がなされた直後のイスラエルのレバノンへの攻撃で、緊張感が高まり、パキスタンでの交渉もまとまりませんでした。我国が輸入する原油の94%はホルムズ海峡経由、天然ガスはおよそ6%がホルムズ海峡を経由して日本に來ます。

経済力の弱い国ほど困る状況

日本と同様、東南アジアの国々もホルムズ海峡経由の原油に大きく依存しています。「油は高いところを流れる」との格言があります。価格さえ出せば買えると言うことです。逆に言えば、経済力の弱い国ほど、困ることになります。部品等様々なサプライチェーンの中で、日本企業も東南アジア等海外の企業に依存しており、どこに供給のボトルネックがあるか分かりません。それぞれの企業がサプライチェーンの再点検をしなければならぬ状況になっています。

求められる調達先多角化と
値決め方式の変更

同時に、日本の原油の調達先の多角化が求められています。一方、天然ガスの中東依存度は低いですが、価格の決め方を変える必要性があります。原

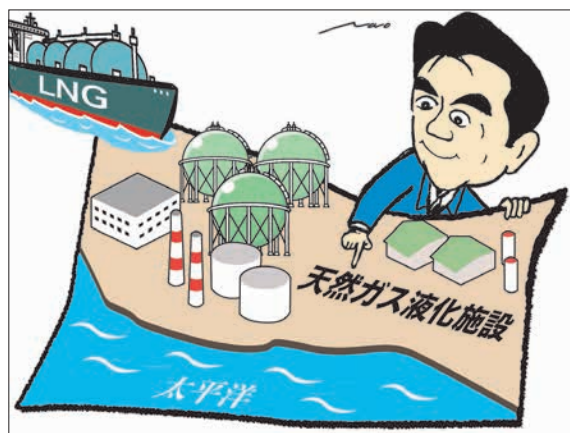
油調達先の多角化の検討をする上での課題はどういうルートで日本に原油が来るのかということです。南北アメリカ大陸の原油の積出し地として有力なのは、米国メキシコ湾岸あるいはベネズエラですが、大きなタンカーはパナマ運河が通れないのでアフリカ喜望峰経由となり、時間がかかります。カザフスタン、アゼルバイジャンの原油もトルコ経由になるとスエズ運河が通れなければやはり喜望峰経由となります。アラスカの原油は既にパイプラインが引かれている分での購入であれば比較的に関に近いです。増産する場合は北極圏に積出港を作る必要があります。

天然ガス価格はヘンリーハブ連動にすべき

天然ガスの価格は現在、原油価格連動で決まっておりますが諸外国の価格は必ずしも原油価格連動ではありません。北米では、ヘンリーハブというガス価格の指標があり、これが使われます。今回の様に、原油価格が急騰するとガスは調達出来るのに価格が上がることとなります。この状況を改善する為に、ガス価格の値決めの仕方を変える必要があります。米国本土は全てパイプラインで繋がっているので、太平洋側に天然ガスの液化施設を作り、日本やアジアへ輸出する基地を作ることの後押しをして参ります。

第33代・第34代環境大臣

浅尾 慶一郎



誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさお慶一郎のプロフィール

昭和39年2月11日生まれ
米光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学
経営大学院 (MBA) 修了

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選 (2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選 (2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選 (3期目)
令和4年 参議院議員選挙当選 (3期目)

浅尾慶一郎
事務所

鎌倉事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5階
TEL.0467-47-5682 FAX.0467-47-5626
info@asao.net

Website
asao.netFacebook
facebook.com/
keiichiASAOX
twitter.com/
asao_keiichiroYouTube
youtube.com/
user/
asaokeiichiroFSC
www.fsc.org

ミックス

証 | 責任ある森林
管理を支えています

FSC® C190963



クローズアップかながわ

横浜市旭区

横浜市西部
面積：32.73km²
人口：239,515人
(令和8年3月1日現在)

活動レポートの「クローズアップかながわ」は、神奈川県内の政令都市で多角的に活躍する方々にインタビューし、それぞれの地域の魅力を発信する企画です。

今回は、横浜市旭区を拠点に書道家・刻字作家として活動されている佐藤琴帥さんにお話を伺いました。かつては里山の風景が広がり、現在は閑静な住宅街として知られる旭区。芸術家の視点から見た街の変遷と、伝統文化を次世代へつなぐ想いについて語っていただきました。

あさお：旭区に住まれて長いとお聞きしましたが、佐藤さんから見てこの街の魅力はどのようなところにありますか。

佐藤さん：私がおこへ来た昭和40年代の頃は、今の商店街もなく、辺り一面が山や田んぼでした。当時は長靴を履いて駅まで行き、そこで履き替えて出かけていたんですよ(笑)。今は住宅地になりましたが、もともと農家さんが多かった土地柄ということもあり、非常に穏やかで平穏なのが旭区の良さですね。ご近所同士の挨拶も自然に交わされる、とても住み心地の良い街です。

あさお：旭区で「ここはぜひ訪れてほしい」というおすすめのスポットを教えてください。

佐藤さん：やはり一番は「よこはま動物園ズーラシア」ですね。県内外でも有名ですが、旭区と言えば！という感じです。地域に密着した場所なら、笹野台公園も素晴らしいですよ。昔は野球場だった場所ですが、今は古い桜の木が残っていて、春には見事な花を咲かせます。夏には手づくりの神輿が出るお祭りもあって、子供たちの元気な声が響く場所です。

あさお：佐藤さんは書道だけでなく、竹に文字を彫る「竹刻」という大変珍しい芸術にも取り組まれていますね。

佐藤さん：はい。板に彫る方は多くいらっしゃいますが、竹に彫る、特に女性の作家は今ではほとんどいなくなっていました。竹を焼いて乾燥させ、虫がつかないように半年かけて下準備をするなど、非常に手間がかかる仕事です。自分の心に打ち勝つ厳しさが必要な世界ですが、この年になっても退屈することなく打ち込めるものがある



竹刻

のは、本当に幸せなことだとしみじみ感じています。

あさお：今後の活動や、これからの旭区に期待すること、またご自身の『夢』についてお聞かせください。

佐藤さん：現在は60周年の記念展に向けて、100本の刻字作品を準備しているところです。ただ、残念ながら伝統的な書や刻字を継承してくれる若い方が減っているのが現状です。旭区は教育熱心な地域で、希望ヶ丘高校をはじめ優秀な学校も多い。スポーツに打ち込む子も多いですが、こうした伝統文化にも触れ、次世代を担う表現者が育ってくれること。刻字のジャンルでは私を越える表現者が出てくることを願っています。

あさお：佐藤さんのお話を伺い、旭区が持つ「穏やかさ」の根源が、かつての里山文化や農家の方々の温かい気質にあることを再確認しました。急速に発展を遂げた街の中で、変わらない近所付き合いや伝統を重んじる心。佐藤さんの力強い書と竹刻の作品は、まさにその旭区の精神を形にしたものだと感じます。伝統文化を守り、次世代が誇りを持って暮らせるまちづくりに私も全力を尽くしてまいります。

佐藤さんの3選

旭区の誇るスポットと文化

よこはま動物園ズーラシア



「生命の共生・自然との調和」をテーマとした国内最大級の動物園。旭区を代表する観光名所であり、広大な敷地で動物たちがのびのびと暮らす姿は、大人から子供まで多くの人々を癒やす。

笹野台公園の桜と夏祭り



地域住民に愛される憩いの場。春には約1000本の桜が咲き誇り、花見スポットとしても人気。夏には住民手づくりのお祭りを開催。地域の絆を感じさせる温かい交流の拠点。

伝統的竹刻・書道文化



竹の表面を削り、緻密な文字を刻み込む伝統技法。佐藤さんが守り続けるこの芸術は、旭区の静かで穏やかな環境の中で磨き上げられた。己を律し、墨と向き合う精神文化がこの街には深く息づく。

あさお慶一郎をご支援ください

特別賛助 会員募集

「あさお慶一郎君を応援する会」では、あさお慶一郎の政治活動を支援する一助として『特別賛助会員』(5,000円/年)*の募集を行っております。ご入会の方に、鎌倉彫の伝統継承者 三橋 鎌幽氏がデザインした『2026年干支「午」』のオリジナルピンバッジをお渡しします。

※後援会組織「あさお会」は無料。年会費はありません。



あさお慶一郎「新緑の集い」開催

あさお慶一郎議員と懇親を深める恒例の「新緑の集い」が開催されます。国政報告だけではなく、気兼ねなく対話ができる貴重な機会です。ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：5月23日(土) 14時00分～(受付 13時30分から)
会場：鎌倉パークホテル / 会費：6,000円
申込：氏名・住所をTEL.0467-47-5682 もしくはメール (ishizuka@asao.net)

※詳細は浅尾事務所 (0467-47-5682) 担当 石塚まで※

お申込み記入欄

お申込みは FAX. 0467-47-5626 か asao.net のご意見・お問合せフォームへ

お申込みをされる項目に✓をしてください	フリガナ	電話番号
<input type="checkbox"/> 特別賛助会員	お名前	E-mail
<input type="checkbox"/> ポスターの掲示ご協力 *自宅の壁・フェンス等に掲示可能な方はお知らせください	〒	
<input type="checkbox"/> 自民党入党希望	ご住所	

各種入会・詳細に関しましては、「浅尾慶一郎事務所」ホームページ「https://asao.net/」又は TEL. 0467-47-5682 までご連絡ください。